

[資 料]

## 2011年大阪市長・府知事同日選挙下の 投票行動と政治意識に関する調査の概要

善 教 将 大  
石 橋 章 市 朗  
坂 本 治 也

### 1. 調査の背景

本調査報告資料は、一般に「大阪ダブル選」と呼ばれている2011年に行われた大阪市長・府知事同日選挙（以下2011大阪同日選と略記）における有権者の政治意識および政治行動に関する意識調査の結果を整理したものである。この選挙は、有権者のみならず多くのマスコミや識者が関心を寄せた選挙であり、候補者の動向や有権者の投票行動にも多くの注目が集まった。以下、本調査の背景としてのこの選挙とその結果についての概略を記す。

2011年11月27日、大阪では同一日に2つの首長選挙の投開票が行われた。その1つは、任期満了にともなう大阪市長選挙である。市長選は、元毎日放送アナウンサーで現職・無所属の平松邦夫氏と、大阪府知事を任期途中で辞職し立候補した地域政党大阪維新の会代表の橋下 徹氏の2名によって争われた選挙であった。いま1つは、橋下氏の辞職にともなう大阪府知事選挙である。府知事選は、前池田市長の倉田 薫氏、大阪府議会議員で大阪維新の会幹事長の松井一郎氏、弁護士で共産党推薦の梅田章二氏など計7名の新人による争いであった。

2011大阪同日選における主要争点は、橋下氏が率いる大阪維新の会が推進しようとする「大阪都構想」および公務員制度や教育行政の改革についてであった。いずれの選挙においても、これらの点に関する是非が争われた。とりわけ「大阪都構想」については、マスコミなどを巻き込みつつ、各候補者間で激しい論争が繰り広げられた。

「大阪都構想」とは、「大阪府と政令市間での二重行政の解消」と「特別区創設によ

る自治制度の充実」を基本目標に、大阪市や堺市など複数の市を解体した、その権限の一部を大阪府に移譲した上で「大阪都」として自治体規模を再編する案である。その他、行政職員の人事評価と懲戒処分規定を改めるための「職員基本条例」や、教育行政への政治関与を強めるための「教育基本条例」の制定を含め、橋下氏と松井氏は大阪府および大阪市行政の停滞を打開すべく、これらの改革の実現を訴えた。他方、民主党、自民党、共産党などの後押しを受けた平松氏、倉田氏、梅田氏の各主要候補者は、いずれも橋下氏ないし大阪維新の会の性急な改革姿勢を批判し、「大阪都構想」などが実現した場合に生じることが予測されるさまざまな弊害について訴えた。

このように「大阪都構想」をはじめとする大規模な制度改革案の是非をめぐる争いは、「既成主要政党 vs. 新興勢力の地域政党」「既得権益擁護者 vs. 改革者」という、非常に分かりやすい構図を成していた。2011 大阪同日選の争点は「やさしい争点」であったため、有権者はこの選挙に大きな関心を寄せた。また、マスメディアの選挙戦や大阪都構想などに関する報道も活発に行われた。

選挙の結果は、大阪市長選と大阪府知事選のいずれにおいても、大阪維新の会候補者の圧勝であった。大阪市長選の投票率は60.9%（前回比17.3ポイント増）であり、相対得票率は橋下氏が59.0%（750,813票）、平松氏が41.0%（522,641票）であった。他方、大阪府知事選の投票率は52.9%（前回比3.9ポイント増）であり、相対得票率は松井氏が54.7%（2,006,195票）、倉田氏が32.8%（1,201,034票）、梅田氏が9.7%（357,159票）であった。その他の4候補者については、それぞれ岸田 修氏が0.8%（29,487票）、高橋正明氏が0.8%（27,809票）、中村 勝氏が0.6%（22,347票）、マック赤坂氏が0.6%（21,479票）であった。

## 2. 調査の目的と意義

筆者らは、2011大阪同日選挙下の有権者の政治意識と投票行動を探るべく、「関西政治意識・行動調査研究プロジェクト」を立ち上げ、「2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識」調査（以下、本調査と略記）と題する意識調査を実施した。その理由は、この選挙が次に述べる4つの点で政治学的に非常に意義ある興味深い選挙だと考えられたからである。

第1は、異なる選挙が同一日に行われる「同時（同日）選挙」の一事例としての意義である。同時選挙の例としては、国政レベルでは1980年と86年に行われた55年体制下での衆参同日選挙などがあげられる。既存研究では、同時選挙では1) 投票コストの削減

やマスメディアによる選挙報道量の増加、選挙動員の増加などによって投票率が上昇すること、2) いわゆる「保守分裂選挙」の可能性が小さくなるなど特有のメカニズムが働くことなどが指摘されている（川人 1988；蒲島 1988；三宅 1990；砂原 2010）。本選挙は、このような先行研究の知見がどの程度当てはまるのかを検証する事例としての意義があり、その材料の1つとして本調査を用いることができると考えられる。

第2は、いわゆる「改革志向型政治」に対する有権者の支持ないし不支持の分析素材としての意義である。たとえば大嶽（2003）では、1990年代以降の日本政治において、政治への「期待と幻滅のサイクル」が継続的に生じていることが指摘されている。細川護熙氏、（野党時代の）菅直人氏、橋本龍太郎氏、加藤紘一氏、小泉純一郎氏、田中眞紀子氏などに象徴されるように、改革を強く志向する政治家への期待が無党派層を中心に一時的に高まっては、時間の経過とともに退潮していくという現象が繰り返されているのである。この現象は、小泉政権以後の日本政治の展開にも基本的には該当し、ここ数年来の民主党への期待と失望の落差はまさにその一例であるといえよう。では、この「改革志向型政治」に対する「期待と幻滅のサイクル」は、現在多くの有権者の支持を集めている橋下徹氏ないし大阪維新の会にも当てはまるのであろうか。それとも、また別の潮流を生み出す新たな動きとなるのか。この点を検討していく上で、本調査は重要な素材になり得ると考える。

第3は、中央とは異なる独自の政治力学が働き始めた近年の地方政治の一事例としての意義である。1990年代以前の地方政治は、中央政治における保革対立や中央省庁の制度的および財政的統制に影響される面が大きかった。しかしながら、55年体制の崩壊や地方分権改革などの重大な契機を経ることによって、次第に地方では独自の論理に基づいた政治的競争が行われるようになってきた。例を挙げれば、首長と議会の対立の顕在化、中央の政党ラインとは無関係な地域政党の出現、地域ごとの政策選択の多様化などである。地方政治を扱った研究も、新たな局面を見せ始めた地方政治の動向に沿う形で、近年大幅に増加しつつある（曾我・待鳥 2007；馬渡 2010；有馬 2011；砂原 2011）。現在の大阪で生じている政治的競争は、まさに以上のような地方政治の新展開を典型的に表象する現象であり、それを支える有権者の動向を分析する価値は高いと考えられる。

第4は、地方レベルの選挙における有権者の政治意識や政治行動の分析という意義である。これまでの投票行動研究の焦点は、専ら国政レベルの選挙における政治意識や投票行動であり、一部の例外的な研究を除いて（三宅 1990；岩渕 1996；河村 2001）、地方レベルのそれを扱う研究は少なかった。しかし、上述したように55年体制の崩壊以後、

地方では独自の政治的競争が行われ始めている。そこでの有権者の意思決定メカニズムを明らかにすることは、先行研究とは異なる新たな知見を提供することに繋がると考える。

### 3. 調査の概要

以下、本調査の概要について記す。

#### 調査主体

本調査の主体は、善教将大（当時：立命館大学政策科学部非常勤講師，現：（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構主任研究員）を代表者とし、石橋章市朗（関西大学法学部准教授）および坂本治也（関西大学法学部准教授）を分担者とする「関西政治意識・行動調査研究プロジェクト」である。なお調査を実施するにあたっては、関西大学法学部坂本ゼミ所属の学生や神戸大学大学院法学研究科に所属する学生など多くの方々にご助力頂いた。とりわけ、調査補助者として尽力して頂いた伊藤 誠氏（立命館大学大学院政策科学研究科博士課程後期課程）、秦 正樹氏（神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程）、田原 歩氏（神戸大学大学院法学研究科博士課程前期課程）には、ここに記して感謝の意を表したい。

#### 調査対象および標本抽出方法

本調査の対象は、大阪市および阪南市に居住する20歳から80歳までの男女であり、いずれも選挙人名簿より、大阪市については1000サンプル、阪南市については600サンプルを抽出した。

サンプル抽出方法は以下の通りである。大阪市については24区すべての選挙人名簿を閲覧することが調査実施の都合上困難であったため、8つの区を無作為に抽出した上で、それぞれの区の人口比に合わせてサンプルを抽出した（比例割当方式。なお抽出区と抽出サンプル数の詳細は以下の通りである。西区 [86サンプル]，浪速区 [58サンプル]，西成区 [122サンプル]，都島区 [106サンプル]，淀川区 [168サンプル]，鶴見区 [109サンプル]，東淀川区 [180サンプル]，城東区 [171サンプル]）。阪南市は完全無作為抽出法でサンプルを抽出した。



### 調査方法と調査期間

本調査は、大阪市と阪南市いずれにおいても2011年11月29日から同年12月30日にかけて、郵送法にて実施した。具体的には、まず、11月29日に挨拶状、質問票、返送用封筒、資料の4点を封入した封筒を調査対象者に送付した。この時点においては、締め切り日を12月20日とし謝礼なども設けていない。次に、12月18日に、未回答者宛に、回答の締め切りを12月30日に延期すること、また、抽選で10名に5000円分の商品券を謝礼として贈呈する旨を記した督促状を送付した。なお、抽選は2012年1月初旬に行い、商品券は1月中旬に発送した。

本調査における回収方法は、送付した質問票に直接記入し返送するという「従来型」の方法ともう1つ、調査票とまったく同じアンケートフォーマットをウェブ上に用意し、それを用いて回答してもらうという2つの方法を採用した。いわゆる「混合調査」方式を採用している。ウェブ回収には、返送に係る費用やデータ入力に係る時間を節約できること、誤回答がほとんど発生しないこと、若年層の回答を期待できるといったメリットがある。他方で、調査方法が異なることによるバイアスが発生する可能性があるというデメリットもあるが、この点を確認した結果、2つの回収方法間で回答率の有意差はほとんど生じていなかった。

### 回収率

大阪市については、住所不明や不在といった理由で、発送した質問票のうち、71通が返送された。同様に阪南市も78通が住所不明などの理由で返送されたため、アタック数は大阪市が929、阪南市が522となる。総計349人の回答が得られ、内訳は大阪市が225人（返送194人、ウェブ31人）、阪南市が124人（返送103人、ウェブ21人）であった。有効回収率は、大阪市が24.2%、阪南市が23.8%となる。詳細は、表1に記す通りである。

表1 回収状況

		返送	ウェブ	計
大阪市	12/20まで	147	26	173
	12/21以降	47	5	52
阪南市	12/20まで	69	15	84
	12/21以降	34	6	40
計		297	52	349

このように回収率が極端に低くなってしまったことで、政治へ関心がありません有権者の回答が十分にデータに反映できていない可能性がある。もっとも、同様の問題は多くの意識調査にも通じる問題であり、本調査に特有の問題というわけではない。しかし回収率が30%に満たない調査であることは確かであり、ゆえに本調査を用いての解釈は十分に注意する必要がある。

## 4. 回 答 状 況

以下では、本調査における各設問について、それぞれの質問文と度数分布を記す。なお、本調査は、一部において異なる質問文を用いるなど、やや複雑な構造となっている。その詳細はすべて【 】内にて記しているが、度数分布を参照する際はこの点に注意されたい。

### 4.1 大阪市長・府知事同日選挙下における投票行動に関する質問の回答状況

#### 【※質問文 大阪市】

Q1-1 選挙に行く人もいれば、いろいろな事情で行けない人もいます。あなたは、平成23年11月27日に行われた大阪市長・府知事選挙の投票に行きましたか。1つだけ○印をつけてください。

#### 【※質問文 阪南市】

Q1-1 選挙に行く人もいれば、いろいろな事情で行けない人もいます。あなたは、平成23年11月27日に行われた大阪府知事選挙の投票に行きましたか。1つだけ○印をつけてください。

#### 投票参加

	大阪市		阪南市	
	度数	%	度数	%
1. 投票日に投票した	140	62.5	65	53.3
2. 不在者投票した	32	14.3	23	18.9
無回答（投票には行った）	22	9.8	7	5.7
3. 行かなかった	30	13.4	26	21.3
4. 忘れた／言いたくない	0	0.0	1	0.8
合 計	224	100.0	122	100.0

注) 投票した候補者のみに○をつけている場合を「無回答（投票には行った）」としている

【※質問文共通。ただし市長選投票方向は大阪市のみ】

Q1-2 どの候補者に投票しましたか。1つだけ○印をつけてください。

市長選投票方向（大阪市のみ）

	度数	%
1. 橋 下 徹	128	67.0
2. 平 松 邦 夫	63	33.0
合 計	191	100.0

府知事選投票方向

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 松 井 一 郎	116	62.4	62	66.7
2. 倉 田 薫	52	28.0	26	28.0
3. 梅 田 章 二	15	8.1	2	2.2
4. そ の 他	3	1.6	3	3.2
合 計	186	100.0	93	100.0

【※質問文共通。ただし市長選考慮事項は大阪市のみ】

Q1-3 その際もっとも考慮したことはどれですか。1つだけ○印をつけてください。

市長選考慮事項（大阪市のみ）

	度数	%
1. 候補者の所属政党	12	6.3
2. 候補者の政策	123	64.4
3. 候補者の人柄	49	25.7
4. 投票の依頼	1	0.5
5. その他	6	3.1
合 計	191	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

府知事選考慮事項

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 候補者の所属政党	70	37.4	44	46.3
2. 候補者の政策	81	43.3	40	42.1
3. 候補者の人柄	26	13.9	8	8.4
4. 投票の依頼	3	1.6	0	0.0
5. その他	7	3.7	3	3.2
合 計	187	100.0	95	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q1-4 大阪市長・府知事同日選の投票に行く、あるいは行かないことを決めたのはだいたいどのくらいの時期ですか。1つだけ○印をつけてください。

投票参加を決めた時期

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 投票日当日	13	6.3	20	16.8
2. 投票日の前日～前々日	13	6.3	6	5.0
3. 投票日の1週間～3日前	17	8.2	10	8.4
4. 選挙の公示後～1週間	31	15.0	13	10.9
5. 公示前からきめていた	131	63.3	66	55.5
6. 忘れた／言いたくない	2	1.0	4	3.4
合 計	207	100.0	119	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q2-1 今回の府知事選での当選者の得票率について、あなたのお考えに近いもの1つに○印をつけてください。

知事選における当選者（松井氏）の得票率についての考え

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. もう少し高くてもよかった	47	21.8	31	25.4
2. 予想どおりだった	109	50.5	56	45.9
3. もう少し低くてもよかった	31	14.4	19	15.6
4. わからない	29	13.4	16	13.1
合 計	216	100.0	122	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q2-2 では、大阪市長選挙の結果についてはどうでしょうか。1つだけ○印をつけてください。

市長選における当選者（橋下氏）の得票率についての考え

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. もう少し高くてもよかった	61	28.4	28	22.6
2. 予想どおりだった	107	49.8	64	51.6
3. もう少し低くてもよかった	27	12.6	15	12.1
4. わからない	20	9.3	17	13.7
合 計	215	100.0	124	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q3 大阪府知事選と大阪市長選のどちらが、あなたにとって関心のある重要な選挙でしたか。あなたのお考えに近いもの1つに○印をつけてください。

どちらの選挙が重要か

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 市長選挙	85	39.0	27	21.8
2. どちらかといえば市長選挙	61	28.0	27	21.8
3. どちらも同じくらい	61	28.0	43	34.7
4. どちらかといえば府知事選挙	2	0.9	15	12.1
5. 府知事選挙	3	1.4	7	5.6
6. どちらも重要ではない	4	1.8	3	2.4
7. わからない	2	0.9	2	1.6
合 計	218	100.0	124	100.0

## 4.2 過去の投票行動および政治参加に関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

Q4-1 過去の選挙における投票についておうかがいします。あなたは，平成23年4月に行われた大阪府議会議員選挙の投票に行きましたか。1つだけ○印をつけてください。

過去の投票参加：平成23年大阪府議会議員選挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 投票日に投票した	129	57.8	64	52.9
2. 不在者投票した	29	13.0	23	19.0
無回答（投票には行った）	9	4.0	1	0.8
3. 行かなかった	51	22.9	27	22.3
4. 忘れた／言いたくない	5	2.2	6	5.0
合 計	223	100.0	121	100.0

注) 投票した候補者のみに○をつけている場合を「無回答（投票には行った）」としている

【※質問文，回答ともに共通】

Q4-2 どの候補者に投票しましたか。1つだけ○印をつけてください。



過去の投票方向：平成23年大阪府議会議員選挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 自民党関係の候補者	21	12.7	18	20.7
2. 公明党関係の候補者	12	7.3	8	9.2
3. 民主党関係の候補者	38	23.0	15	17.2
4. 大阪維新の会関係の候補者	60	36.4	23	26.4
5. その他政党関係の候補者	7	4.2	3	3.4
6. 無所属の候補者	5	3.0	5	5.7
7. 忘れた／言いたくない	22	13.3	15	17.2
合 計	165	100.0	87	100.0

【※大阪市】

Q5-1 では、同日に行われた大阪市議選挙はどうでしょうか。1つだけ○印をつけてください。

【※阪南市】

Q5-1 では、平成21年9月に行われた阪南市議選挙はどうでしょうか。1つだけ○印をつけてください。

過去の投票参加：平成23年大阪市議会議員選挙

	度数	%
1. 投票日に投票した	126	57.3
2. 不在者投票した	27	12.3
無回答（投票には行った）	15	6.8
3. 行かなかった	48	21.8
4. 忘れた／言いたくない	4	1.8
合 計	220	100.0

注）投票した候補者のみに○をつけている場合を「無回答（投票には行った）」としている

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

過去の投票参加：平成21年阪南市議会議員選挙

	度数	%
1. 投票日に投票した	78	63.9
2. 不在者投票した	16	13.1
無回答（投票には行った）	4	3.3
3. 行かなかった	18	14.8
4. 忘れた／言いたくない	6	4.9
合 計	122	100.0

注) 投票した候補者のみに○をつけている場合を「無回答（投票には行った）」としている

【※質問文共通】

Q5-2 どの候補者に投票しましたか。1つだけ○印をつけてください。

過去の投票方向：平成23年大阪市議会議員選挙

	度数	%
1. 自民党関係の候補者	21	12.7
2. 公明党関係の候補者	10	6.1
3. 民主党関係の候補者	36	21.8
4. 大阪維新の会関係の候補者	60	36.4
5. その他政党関係の候補者	8	4.8
6. 無所属の候補者	5	3.0
7. 忘れた／言いたくない	25	15.2
合 計	165	100.0

過去の投票方向：平成21年阪南市議会議員選挙

	度数	%
1. 自民党関係の候補者	9	9.3
2. 公明党関係の候補者	12	12.4
3. 民主党関係の候補者	18	18.6
4. その他政党関係の候補者	6	6.2
5. 無所属の候補者	36	37.1
6. 忘れた／言いたくない	16	16.5
合 計	97	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q6-1 あなたは，自民党から民主党への政権交代をもたらした，平成21年8月に行われた第45回衆議院議員総選挙の投票に行きましたか。1つだけ○印をつけてください。

過去の投票参加：平成21年衆議院議員総選挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 投票日に投票した	151	68.0	85	69.1
2. 不在者投票した	31	14.0	20	16.3
無回答（投票には行った）	6	2.7	1	0.8
3. 行かなかった	30	13.5	12	9.8
4. 忘れた／言いたくない	4	1.8	5	4.1
合 計	222	100.0	123	100.0

注) 投票した候補者のみに○をつけている場合を「無回答（投票には行った）」としている

【※質問文，回答ともに共通】

Q6-2 では，小選挙区と比例区ではそれぞれ誰（政党）に投票しましたか。1つだけ○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

過去の投票方向：平成21年衆議院議員総選挙（小選挙区）

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 自民党関係の候補者	33	17.8	28	27.2
2. 民主党関係の候補者	109	58.9	49	47.6
3. 公明党関係の候補者	14	7.6	10	9.7
4. 共産党関係の候補者	12	6.5	2	1.9
5. その他政党関係の候補者	8	4.3	1	1.0
6. 忘れた／言いたくない	9	4.9	13	12.6
合 計	185	100.0	103	100.0

過去の投票方向：平成21年衆議院議員総選挙（比例区）

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 自民党	30	17.2	23	24.5
2. 民主党	98	56.3	40	42.6
3. 公明党	12	6.9	11	11.7
4. 共産党	15	8.6	3	3.2
5. その他政党	12	6.9	7	7.4
6. 忘れた／言いたくない	7	4.0	10	10.6
合 計	174	100.0	94	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q 7 次の活動のうち，あなたがここ5年間に経験したことすべてに○をつけてください。

政治参加

	大阪市 (N=214)		阪南市 (N=123)	
	度数	%	度数	%
1. 自治会や町内会で活動した	51	23.8	27	22.0
2. 非営利組織 (NPO) 等の活動に参加した	6	2.8	3	2.4
3. ボランティア活動などに参加した	21	9.8	17	13.8
4. 被災地への寄付や援助活動などを行った	94	43.9	58	47.2
5. 必要があって地元の有力者と接触した	1	0.5	6	4.9
6. 必要があって政治家や官僚と接触した	3	1.4	1	0.8
7. 議会や役所に請願や陳情に行った	6	2.8	1	0.8
8. 選挙や政治に関する集会に参加した	17	7.9	19	15.4
9. 政党の政治活動支援を行った	7	3.3	2	1.6
10. 選挙運動を手伝った	10	4.7	8	6.5
11. 市民・住民運動に参加した	2	0.9	2	1.6
12. デモやボイコットに参加した	2	0.9	1	0.8
13. 請願書に署名した	42	19.6	21	17.1
14. この中のどれも経験していない	81	37.9	39	31.7

4.3 政治関心、義務感、有効性感覚等に関する質問の回答状況

【※質問文、回答ともに共通】

Q 8 選挙のある、なしにかかわらず、いつも政治に関心を持っている人もいますし、持たない人もいます。あなたは政治上の出来事にどのくらい注意を払っていますか。  
1つだけ○印をつけてください。

政治関心

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. いつも注意を払っている	74	33.2	38	31.1
2. 時々注意を払っている	98	43.9	52	42.6
3. たまに注意を払っている	47	21.1	30	24.6
4. まったく注意していない	4	1.8	2	1.6
合 計	223	100.0	122	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q 9 投票に行くことについて，あなたのお考えにもっとも近いもの1つに○印をつけてください。

投票義務感

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 投票に行くことは有権者の義務であり，当然，選挙に行かなくてはならない	103	45.8	51	41.8
2. 有権者はできるだけ選挙に参加したほうがよい	89	39.6	50	41.0
3. 投票に行くかどうかは有権者が決めることなので，必ずしも選挙に参加しなくてもよい	23	10.2	15	12.3
4. どちらとも言えない	10	4.4	6	4.9
合 計	225	100.0	122	100.0

【※質問文共通。ただしA～C票で意見に違いあり】

Q10 有権者と政治や選挙との関わり合いについての次の3つの意見について，あなたのお考えにもっとも近い番号をそれぞれ1つ選び，○印をつけてください。

【A票】

- (1) 選挙では大勢が投票するのだから，自分一人くらい投票してもしなくてもどちらでも構わない
- (2) 自分には政府のすることに対して，それを左右する力はない
- (3) 政治とか政府とかはあまりに複雑なので，自分には何をやっているのかよく理解できないことがある



(1) 大勢が投票するなら投票しなくても構わない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	5	6.3	2	5.6
2. ややそう思う	14	17.7	5	13.9
3. あまりそう思わない	15	19.0	5	13.9
4. そう思わない	44	55.7	22	61.1
5. どちらとも言えない	1	1.3	2	5.6
合 計	79	100.0	36	100.0

(2) 政府を左右する力はない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	23	29.5	19	51.4
2. ややそう思う	32	41.0	9	24.3
3. あまりそう思わない	6	7.7	0	0.0
4. そう思わない	14	17.9	7	18.9
5. どちらとも言えない	3	3.8	2	5.4
合 計	78	100.0	37	100.0

(3) 自分には何をやっているのかよく理解できない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度 数	%	度数	%
1. そう思う	22	28.6	11	29.7
2. ややそう思う	23	29.9	12	32.4
3. あまりそう思わない	16	20.8	6	16.2
4. そう思わない	12	15.6	7	18.9
5. どちらとも言えない	4	5.2	1	2.7
合 計	77	100.0	37	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【B票】

- (1) たとえわずかな一票であっても、それが選挙の結果を変えるきっかけとなる
- (2) ごくふつうの国民でも、政治にかなりの影響を与えることができる
- (3) わが国が直面している重要な政治的問題などを、自分はよく理解していると思う
- (1) わずかな一票でも選挙の結果を変える

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	43	55.8	27	57.4
2. ややそう思う	22	28.6	8	17.0
3. あまりそう思わない	5	6.5	7	14.9
4. そう思わない	5	6.5	4	8.5
5. どちらとも言えない	2	2.6	1	2.1
合 計	77	100.0	47	100.0

(2) 政治に影響を与えることができる

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	23	30.3	14	30.4
2. ややそう思う	25	32.9	5	10.9
3. あまりそう思わない	14	18.4	11	23.9
4. そう思わない	9	11.8	13	28.3
5. どちらとも言えない	5	6.6	3	6.5
合 計	76	100.0	46	100.0

(3) 政治問題を自分はよく理解している

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	8	10.5	7	15.6
2. ややそう思う	34	44.7	17	37.8
3. あまりそう思わない	24	31.6	10	22.2
4. そう思わない	6	7.9	6	13.3
5. どちらとも言えない	4	5.3	5	11.1
合 計	76	100.0	45	100.0

【C票】

- (1) 選挙では大勢が投票するのだから、わたしたちは投票してもしなくてもどちらでも構わない
- (2) 一般の有権者には政府のすることに対して、それを左右する力はない
- (3) 政治とか政府とかはあまりに複雑なので、多くの有権者には何をやっているのかよく理解できないことがある
- (1) 大勢が投票するならわたしたちは投票しなくても構わない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	1	1.5	0	0.0
2. ややそう思う	5	7.4	3	8.1
3. あまりそう思わない	8	11.8	2	5.4
4. そう思わない	51	75.0	32	86.5
5. どちらとも言えない	3	4.4	0	0.0
合 計	68	100.0	37	100.0

- (2) 有権者には政府を左右する力はない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	12	17.6	4	10.8
2. ややそう思う	26	38.2	10	27.0
3. あまりそう思わない	10	14.7	7	18.9
4. そう思わない	18	26.5	13	35.1
5. どちらとも言えない	2	2.9	3	8.1
合 計	68	100.0	37	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(3) 有権者には何をやっているのかよく理解できない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	30	44.1	6	16.2
2. ややそう思う	32	47.1	28	75.7
3. あまりそう思わない	2	2.9	2	5.4
4. そう思わない	4	5.9	1	2.7
5. どちらとも言えない	0	0.0	0	0.0
合 計	68	100.0	37	100.0

【※質問文共通。ただしA～C票で対象に違いあり】

Q11 有権者の行動や世論はどの程度政府に対して影響を与えることができるとお考えですか。あなたのお考えに近いものをそれぞれ1つ選び○印をつけてください。

【A票】

(1) 中央政府 (2) 地方政府

(1) 中央政府への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	13	16.5	4	10.8
2. やや影響を与えることができる	17	21.5	9	24.3
3. あまり影響を与えることはできない	26	32.9	13	35.1
4. ほとんど影響を与えることはできない	19	24.1	8	21.6
5. どちらとも言えない	4	5.1	3	8.1
合 計	79	100.0	37	100.0

(2) 地方政府への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	17	21.5	4	11.1
2. やや影響を与えることができる	24	30.4	14	38.9
3. あまり影響を与えることはできない	24	30.4	12	33.3
4. ほとんど影響を与えることはできない	9	11.4	3	8.3
5. どちらとも言えない	5	6.3	3	8.3
合 計	79	100.0	36	100.0

【B票】

(1) 中央省庁

(2) 地方自治体

(1) 中央省庁への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	9	11.7	3	6.5
2. やや影響を与えることができる	23	29.9	15	32.6
3. あまり影響を与えることはできない	27	35.1	10	21.7
4. ほとんど影響を与えることはできない	15	19.5	14	30.4
5. どちらとも言えない	3	3.9	4	8.7
合 計	77	100.0	46	100.0

(2) 地方自治体への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	20	26.3	10	20.8
2. やや影響を与えることができる	34	44.7	19	39.6
3. あまり影響を与えることはできない	15	19.7	8	16.7
4. ほとんど影響を与えることはできない	6	7.9	7	14.6
5. どちらとも言えない	1	1.3	4	8.3
合 計	76	100.0	48	100.0

【C票】

- (1) 国会 (2) 地方議会

(1) 国会への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	7	10.4	6	16.2
2. やや影響を与えることができる	21	31.3	12	32.4
3. あまり影響を与えることはできない	15	22.4	13	35.1
4. ほとんど影響を与えることはできない	21	31.3	5	13.5
5. どちらとも言えない	3	4.5	1	2.7
合 計	67	100.0	37	100.0

(2) 地方議会への影響力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり影響を与えることができる	10	14.9	6	16.2
2. やや影響を与えることができる	23	34.3	16	43.2
3. あまり影響を与えることはできない	16	23.9	12	32.4
4. ほとんど影響を与えることはできない	15	22.4	2	5.4
5. どちらとも言えない	3	4.5	1	2.7
合 計	67	100.0	37	100.0

#### 4.4 政治不信に関する質問の回答状況

【※質問文共通。ただしA～C票で順序と表現方法に違いあり】

Q12 あなたは、国、都道府県、市町村の政治について、どのくらい信頼できるとお考えですか。あなたのお考えにもっとも近いもの1つにそれぞれ○印をつけてください。



【A票】

(1) 国の政治                      (2) 都道府県の政治                      (3) 市町村の政治

(1) 国の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	1	1.3	0	0.0
2. やや信頼できる	9	11.5	4	10.8
3. あまり信頼できない	36	46.2	20	54.1
4. まったく信頼できない	30	38.5	13	35.1
5. どちらとも言えない	2	2.6	0	0.0
合 計	78	100.0	37	100.0

(2) 都道府県の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	1	1.3	0	0.0
2. やや信頼できる	26	32.9	11	29.7
3. あまり信頼できない	38	48.1	19	51.4
4. まったく信頼できない	10	12.7	4	10.8
5. どちらとも言えない	4	5.1	3	8.1
合 計	79	100.0	37	100.0

(3) 市町村の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	1	1.3	1	2.7
2. やや信頼できる	31	38.8	12	32.4
3. あまり信頼できない	33	41.3	18	48.6
4. まったく信頼できない	9	11.3	3	8.1
5. どちらとも言えない	6	7.5	3	8.1
合 計	80	100.0	37	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【B票】

(1) 市町村の政治                      (2) 都道府県の政治                      (3) 国の政治

(1) 市町村の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	6	7.8	2	4.2
2. やや信頼できる	23	29.9	13	27.1
3. あまり信頼できない	40	51.9	23	47.9
4. まったく信頼できない	4	5.2	6	12.5
5. どちらとも言えない	4	5.2	4	8.3
合 計	77	100.0	48	100.0

(2) 都道府県の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	2	2.6	0	0.0
2. やや信頼できる	23	29.9	12	26.1
3. あまり信頼できない	40	51.9	21	45.7
4. まったく信頼できない	8	10.4	9	19.6
5. どちらとも言えない	4	5.2	4	8.7
合 計	77	100.0	46	100.0

(3) 国の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	3	3.9	0	0.0
2. やや信頼できる	5	6.5	2	4.3
3. あまり信頼できない	28	36.4	20	42.6
4. まったく信頼できない	38	49.4	22	46.8
5. どちらとも言えない	3	3.9	3	6.4
合 計	77	100.0	47	100.0

【C票】

(1) 大阪市の政治 (2) 大阪府の政治 (3) 国の政治

(1) 阪南市の政治 (2) 大阪府の政治 (3) 国の政治

(1) 大阪市／阪南市の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	4	5.9	0	0.0
2. やや信頼できる	26	38.2	12	32.4
3. あまり信頼できない	27	39.7	15	40.5
4. まったく信頼できない	5	7.4	4	10.8
5. どちらとも言えない	6	8.8	6	16.2
合 計	68	100.0	37	100.0

(2) 大阪府の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	4	6.0	0	0.0
2. やや信頼できる	23	34.3	12	32.4
3. あまり信頼できない	30	44.8	22	59.5
4. まったく信頼できない	2	3.0	1	2.7
5. どちらとも言えない	8	11.9	2	5.4
合 計	67	100.0	37	100.0

(3) 国の政治への信頼

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり信頼できる	0	0.0	0	0.0
2. やや信頼できる	4	5.9	3	8.1
3. あまり信頼できない	37	54.4	14	37.8
4. まったく信頼できない	25	36.8	16	43.2
5. どちらとも言えない	2	2.9	4	10.8
合 計	68	100.0	37	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q13 政治や制度に関する次の3つの意見について、あなたのお考えにもっとも近いものの1つにそれぞれ○印をつけてください。

- (1) 政党があるからこそ有権者の声が政治に反映するようになる
- (2) 選挙があるからこそ有権者の声が政治に反映するようになる
- (3) 国会があるからこそ有権者の声が政治に反映するようになる

(1) 政党があるから有権者の声が政治に反映する

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 賛成	25	11.5	10	8.3
2. どちらかといえば賛成	80	36.7	42	34.7
3. どちらかといえば反対	24	11.0	12	9.9
4. 反対	21	9.6	10	8.3
5. どちらとも言えない	68	31.2	47	38.8
合 計	218	100.0	121	100.0

(2) 選挙があるから有権者の声が政治に反映する

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 賛成	75	34.2	29	24.0
2. どちらかといえば賛成	88	40.2	55	45.5
3. どちらかといえば反対	9	4.1	3	2.5
4. 反対	4	1.8	3	2.5
5. どちらとも言えない	43	19.6	31	25.6
合 計	219	100.0	121	100.0

(3) 国会があるから有権者の声が政治に反映する

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 賛成	27	12.4	16	13.3
2. どちらかといえば賛成	63	28.9	30	25.0
3. どちらかといえば反対	29	13.3	13	10.8
4. 反対	22	10.1	12	10.0
5. どちらとも言えない	77	35.3	49	40.8
合 計	218	100.0	120	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q14-1 政治家への考えについておうかがいします。あなたは、おおざっぱに言って政治家は当選すると有権者のことを考えなくなるとお考えですか。1つだけ○印をつけてください。

政治家は当選すると有権者のことを考えなくなる

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 考えなくなる	44	19.6	25	20.7
2. おそらく考えなくなる	103	46.0	49	40.5
3. あまりそうは思わない	38	17.0	21	17.4
4. そうは思わない	10	4.5	4	3.3
5. 場合による	29	12.9	22	18.2
合 計	224	100.0	121	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q14-2 それでは、政治は大企業など一部の大きな組織のために運営されているとお考えですか、それとも国民あるいは地域住民全体のために運営されているとお考えですか。1つだけ○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

政治は一部の大きな組織の為に運営されている

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 大組織のため	23	10.3	12	10.0
2. どちらかといえば大組織のため	123	55.2	67	55.8
3. どちらかといえば国民全体のため	28	12.6	12	10.0
4. 国民全体のため	8	3.6	6	5.0
5. 場合による	41	18.4	23	19.2
合 計	223	100.0	120	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q14-3 それでは，政治家は派閥争いや汚職に明け暮れしていて，我々の生活をなおざりにしているとお考えですか。1つだけ○印をつけてください。

政治家は派閥争いや汚職に明け暮れしている

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そのとおり	65	29.1	30	24.8
2. だいたいそのとおり	104	46.6	58	47.9
3. あまりそうは思わない	31	13.9	16	13.2
4. そうは思わない	3	1.3	2	1.7
5. 場合による	20	9.0	15	12.4
合 計	223	100.0	121	100.0

#### 4.5 政党支持，感情温度，政治満足度等に関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

Q15-1 話は変わりますが，投票するかどうかは別にして，ふだんあなたはどの政党を支持していますか。1つだけ○印をつけてください。



支持政党

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 民主党	34	15.2	19	15.8
2. 自民党	33	14.8	26	21.7
3. 公明党	12	5.4	8	6.7
4. みんなの党	21	9.4	11	9.2
5. 共産党	11	4.9	1	0.8
6. 社民党	1	0.4	2	1.7
7. 国民新党	0	0.0	0	0.0
8. たちあがれ日本	2	0.9	4	3.3
9. 新党改革	0	0.0	0	0.0
10. その他	6	2.7	4	3.3
11. 支持する政党などない	103	46.2	45	37.5
合 計	223	100.0	120	100.0

【※質問文，回答ともに共通。Q15-1で支持政党を回答した人のみ】

Q15-2 あなたは熱心な支持者ですか。それともあまり熱心な支持者ではありませんか。

1つだけ○印をつけてください。

支持強度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 熱心な支持者	17	14.3	11	14.7
2. あまり熱心ではない支持者	102	85.7	64	85.3
合 計	119	100.0	75	100.0

【※質問文，回答ともに共通。Q15-1で支持政党を回答しなかった人のみ】

Q15-3 あえて好ましい政党をあげるとするなら，どれでしょうか。1つだけ○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

好ましい政党

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 民主党	8	7.7	2	4.4
2. 自民党	7	6.7	3	6.7
3. 公明党	4	3.8	1	2.2
4. みんなの党	19	18.3	8	17.8
5. 共産党	2	1.9	1	2.2
6. 社民党	2	1.9	0	0.0
7. 国民新党	0	0.0	0	0.0
8. たちあがれ日本	2	1.9	1	2.2
9. 新党改革	0	0.0	0	0.0
10. その他	2	1.9	0	0.0
11. そのような政党はない	58	55.8	29	64.4
合 計	104	100.0	45	100.0

【※質問文，回答ともに共通。Q15-3で好ましい政党を回答しなかった人のみ】

Q15-4 「そのような政党はない」という気持ちの強さはどの程度でしょうか。1つだけ○印をつけてください。

無党派強度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 強い	27	46.6	15	51.7
2. あまり強くない	31	53.4	14	48.3
合 計	58	100.0	29	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q16 あなたは野田内閣を支持していますか。1つだけ選び○印をつけてください。

野田内閣への支持

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 支持している	6	2.8	5	4.2
2. やや支持している	42	19.6	23	19.5
3. あまり支持していない	98	45.8	44	37.3
4. まったく支持していない	46	21.5	34	28.8
5. どちらとも言えない	22	10.3	12	10.2
合 計	214	100.0	118	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q17 政治に影響力のある人についておうかがいします。(1)～(12)の政治家や政党に対して，温度にたとえてお答えください。もし好意も反感もない場合は50度としてください。もし好意的な気持ちがあれば，その強さに応じて50度から100度の数字をご記入ください。逆に反感を感じていれば，やはりその強さに応じて0度から50度までの数字をご記入ください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

感情温度

		最小値	最大値	平均値	標準偏差	度数
(1) 野田佳彦	大阪市	0	100	41.8	21.4	207
	阪南市	0	100	38.6	23.4	111
(2) 橋下徹	大阪市	0	100	67.5	29.8	212
	阪南市	0	100	65.2	27.6	113
(3) 平松邦夫	大阪市	0	100	45.8	22.2	208
	阪南市	0	90	39.8	22.7	110
(4) 松井一郎	大阪市	0	100	54.8	25.4	208
	阪南市	0	100	52.0	24.7	112
(5) 倉田薫	大阪市	0	100	41.0	21.0	207
	阪南市	0	80	37.8	22.9	111
(6) 梅田章二	大阪市	0	100	35.9	22.9	202
	阪南市	0	80	29.9	23.1	109
(7) 民主党	大阪市	0	95	36.6	23.6	209
	阪南市	0	100	34.5	23.9	111
(8) 自民党	大阪市	0	100	38.9	22.2	208
	阪南市	0	80	38.4	22.4	112
(9) 公明党	大阪市	0	100	28.1	23.4	207
	阪南市	0	80	29.1	22.4	111
(10) みんなの党	大阪市	0	100	41.4	23.6	207
	阪南市	0	100	41.6	25.2	111
(11) 共産党	大阪市	0	100	29.4	24.7	207
	阪南市	0	80	27.4	22.5	111
(12) 大阪維新の会	大阪市	0	100	59.1	30.0	212
	阪南市	0	100	56.2	27.5	113

【※質問文，回答ともに共通】

Q18 ところで，よく保守的とか革新的とかという言葉が使われていますが，あなたの政治的な立場は下の番号のどれにあてはまりますか。1つだけ○印をつけてください。0が革新的で，10が保守的です。1～9の数字は5を中間に，左によるほど革新的，右によるほど保守的という意味です。

保革イデオロギー

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
0. 革新的	6	2.8	4	3.4
1	8	3.8	2	1.7
2	19	8.9	6	5.1
3	29	13.6	20	17.1
4	32	15.0	8	6.8
5. 中間	52	24.4	35	29.9
6	12	5.6	8	6.8
7	9	4.2	9	7.7
8	13	6.1	10	8.5
9	4	1.9	2	1.7
10. 保守的	3	1.4	2	1.7
11. 意味がわからない	26	12.2	11	9.4
合 計	213	100.0	117	100.0

【※質問文共通。ただしA～C票で順序と表現方法に違いあり】

Q19 あなたは，現在の政治に対してどの程度満足していますか。それぞれ1つだけ○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【A票】

(1) 国の政治

(2) 都道府県の政治

(3) 市町村の政治

(1) 国の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	0	0.0	0	0.0
2. やや満足している	3	3.8	2	5.3
3. やや不満である	22	27.8	12	31.6
4. かなり不満である	52	65.8	22	57.9
5. どちらともいえない	2	2.5	2	5.3
合 計	79	100.0	38	100.0

(2) 都道府県の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.3	0	0.0
2. やや満足している	10	12.7	6	15.8
3. やや不満である	34	43.0	12	31.6
4. かなり不満である	21	26.6	8	21.1
5. どちらともいえない	13	16.5	12	31.6
合 計	79	100.0	38	100.0

(3) 市町村の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.3	0	0.0
2. やや満足している	16	20.3	3	7.9
3. やや不満である	29	36.7	16	42.1
4. かなり不満である	20	25.3	8	21.1
5. どちらともいえない	13	16.5	11	28.9
合 計	79	100.0	38	100.0

【B票】

(1) 市町村の政治 (2) 都道府県の政治 (3) 国の政治

(1) 市町村の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.3	1	2.1
2. やや満足している	17	22.7	8	16.7
3. やや不満である	35	46.7	17	35.4
4. かなり不満である	15	20.0	10	20.8
5. どちらともいえない	7	9.3	12	25.0
合 計	75	100.0	48	100.0

(2) 都道府県の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.3	0	0.0
2. やや満足している	16	21.3	9	18.8
3. やや不満である	29	38.7	20	41.7
4. かなり不満である	19	25.3	11	22.9
5. どちらともいえない	10	13.3	8	16.7
合 計	75	100.0	48	100.0

(3) 国の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	0	0.0	0	0.0
2. やや満足している	4	5.3	2	4.2
3. やや不満である	12	16.0	8	16.7
4. かなり不満である	56	74.7	33	68.8
5. どちらともいえない	3	4.0	5	10.4
合 計	75	100.0	48	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【C票】

(1) 大阪市の政治 (2) 大阪府の政治 (3) 国の政治

(1) 阪南市の政治 (2) 大阪府の政治 (3) 国の政治

(1) 大阪市／阪南市の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.5	0	0.0
2. やや満足している	17	25.0	9	24.3
3. やや不満である	22	32.4	12	32.4
4. かなり不満である	18	26.5	8	21.6
5. どちらともいえない	10	14.7	8	21.6
合 計	68	100.0	37	100.0

(2) 大阪府の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	1	1.5	0	0.0
2. やや満足している	18	26.5	6	16.7
3. やや不満である	25	36.8	19	52.8
4. かなり不満である	11	16.2	5	13.9
5. どちらともいえない	13	19.1	6	16.7
合 計	68	100.0	36	100.0

(3) 国の政治への満足度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり満足している	0	0.0	0	0.0
2. やや満足している	1	1.5	0	0.0
3. やや不満である	20	29.4	14	38.9
4. かなり不満である	43	63.2	20	55.6
5. どちらともいえない	4	5.9	2	5.6
合 計	68	100.0	36	100.0



#### 4.6 暮らし向きや争点態度等に関する質問の回答状況

【※質問文、回答ともに共通】

Q20 あなたは、景気の動向や暮らし向きについてどのようなお考えをお持ちですか。

それぞれの項目についてあてはまるもの1つに○印をつけてください。

(1) 今の景気の状態

(2) 現在の暮らし向き

(1) 今の景気の状態

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良い	1	0.4	0	0.0
2. やや良い	9	4.0	4	3.2
3. やや悪い	62	27.7	41	33.1
4. かなり悪い	141	62.9	75	60.5
5. どちらでもない	11	4.9	4	3.2
合 計	224	100.0	124	100.0

(2) 現在の暮らし向き

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良い	2	0.9	0	0.0
2. やや良い	24	10.9	10	8.1
3. やや悪い	110	50.0	55	44.4
4. かなり悪い	50	22.7	41	33.1
5. どちらでもない	34	15.5	18	14.5
合 計	220	100.0	124	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(3) 1年前と比べた景気

(4) 1年前と比べた暮らし向き

(3) 1年前と比べた景気

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良くなった	0	0.0	0	0.0
2. やや良くなった	15	6.7	8	6.5
3. やや悪くなった	74	33.2	37	30.1
4. かなり悪くなった	67	30.0	36	29.3
5. 変わらない	67	30.0	42	34.1
合 計	223	100.0	123	100.0

(4) 1年前と比べた暮らし向き

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良くなった	0	0.0	0	0.0
2. やや良くなった	18	8.2	5	4.1
3. やや悪くなった	69	31.4	39	31.7
4. かなり悪くなった	39	17.7	31	25.2
5. 変わらない	94	42.7	48	39.0
合 計	220	100.0	123	100.0

(5) これからの景気

(6) これからの暮らし向き

(5) これからの景気

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良くなる	2	0.9	0	0.0
2. やや良くなる	34	15.3	13	10.6
3. やや悪くなる	67	30.2	40	32.5
4. かなり悪くなる	53	23.9	38	30.9
5. 変わらない	66	29.7	32	26.0
合 計	222	100.0	123	100.0

(6) これからの暮らし向き

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良くなる	3	1.4	0	0.0
2. やや良くなる	31	14.0	12	9.8
3. やや悪くなる	66	29.9	35	28.5
4. かなり悪くなる	49	22.2	41	33.3
5. 変わらない	72	32.6	35	28.5
合 計	221	100.0	123	100.0

(7) 景気への政府の責任

(8) 暮らし向きへの政府の責任

(7) 景気への政府の責任

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり責任がある	158	70.5	74	60.2
2. やや責任がある	50	22.3	43	35.0
3. あまり責任はない	3	1.3	2	1.6
4. まったく責任はない	2	0.9	0	0.0
5. どちらとも言えない	11	4.9	4	3.3
合 計	224	100.0	123	100.0

(8) 暮らし向きへの政府の責任

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり責任がある	113	50.4	60	48.8
2. やや責任がある	79	35.3	54	43.9
3. あまり責任はない	11	4.9	4	3.3
4. まったく責任はない	4	1.8	0	0.0
5. どちらとも言えない	17	7.6	5	4.1
合 計	224	100.0	123	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q21 あなたは、以下に掲げるさまざまな問題を、それぞれどの程度重要だとお考えですか。あてはまるもの1つをそれぞれ選び○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

- |               |             |              |
|---------------|-------------|--------------|
| (1) 経済再生・雇用促進 | (4) 社会保障の整備 | (7) 対外的な地位向上 |
| (2) 財政健全化     | (5) 地方分権    | (8) 教育改革     |
| (3) 増税問題      | (6) 治安回復    |              |

(1) 経済再生・雇用促進の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	175	78.8	88	72.1
2. やや重要である	42	18.9	29	23.8
3. あまり重要ではない	3	1.4	2	1.6
4. まったく重要ではない	0	0.0	0	0.0
5. どちらとも言えない	2	0.9	3	2.5
合 計	222	100.0	122	100.0

(2) 財政健全化の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	148	67.6	71	58.7
2. やや重要である	63	28.8	39	32.2
3. あまり重要ではない	5	2.3	5	4.1
4. まったく重要ではない	0	0.0	0	0.0
5. どちらとも言えない	3	1.4	6	5.0
合 計	219	100.0	121	100.0

(3) 増税問題の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	86	39.4	52	43.0
2. やや重要である	88	40.4	38	31.4
3. あまり重要ではない	21	9.6	16	13.2
4. まったく重要ではない	5	2.3	3	2.5
5. どちらとも言えない	18	8.3	12	9.9
合 計	218	100.0	121	100.0

(4) 社会保障の整備の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	109	49.8	63	52.1
2. やや重要である	87	39.7	45	37.2
3. あまり重要ではない	13	5.9	7	5.8
4. まったく重要ではない	1	0.5	1	0.8
5. どちらとも言えない	9	4.1	5	4.1
合 計	219	100.0	121	100.0

(5) 地方分権の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	52	24.1	24	20.2
2. やや重要である	87	40.3	57	47.9
3. あまり重要ではない	49	22.7	20	16.8
4. まったく重要ではない	4	1.9	1	0.8
5. どちらとも言えない	24	11.1	17	14.3
合 計	216	100.0	119	100.0

(6) 治安回復の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	58	26.7	36	30.3
2. やや重要である	89	41.0	49	41.2
3. あまり重要ではない	54	24.9	22	18.5
4. まったく重要ではない	4	1.8	1	0.8
5. どちらとも言えない	12	5.5	11	9.2
合 計	217	100.0	119	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(7) 対外的な地位向上の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	73	33.6	37	31.6
2. やや重要である	78	35.9	48	41.0
3. あまり重要ではない	39	18.0	20	17.1
4. まったく重要ではない	8	3.7	2	1.7
5. どちらとも言えない	19	8.8	10	8.5
合 計	217	100.0	117	100.0

(8) 教育改革の重要性認識

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり重要である	87	40.1	50	41.3
2. やや重要である	84	38.7	49	40.5
3. あまり重要ではない	32	14.7	12	9.9
4. まったく重要ではない	3	1.4	0	0.0
5. どちらとも言えない	11	5.1	10	8.3
合 計	217	100.0	121	100.0

【※質問文共通。A～C票で回答の順序に違いあり】

Q22 最近議論されることの多いいくつかの問題について、異なる意見A・Bを確認されたうえで、あなたの考えにもっとも近い番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

【A票】

- A 今のように景気が悪い時は、財政再建が遅れることになっても景気対策をすべきだ  
 B 今のように政府の借金が多い時は、景気対策が遅れることになっても財政を再建すべきだ

(1) A：財政再建より景気対策 B：景気対策より財政再建

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	31	40.3	19	50.0
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	10	13.0	5	13.2
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	11	14.3	4	10.5
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	12	15.6	3	7.9
5. わからない	13	16.9	7	18.4
合 計	77	100.0	38	100.0

A 競争力の弱い市町村を助けるためには、国が補助金を出すことは当然である

B 国の補助金を極力減らし、地方の自由な競争による活力ある社会をめざすべきである

(2) A：国が補助金を出す B：補助金を減らし地方に競争させる

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	13	16.9	8	21.1
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	17	22.1	3	7.9
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	24	31.2	11	28.9
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	8	10.4	7	18.4
5. わからない	15	19.5	9	23.7
合 計	77	100.0	38	100.0

【B票】

A 今のように政府の借金が多い時は、景気対策が遅れることになっても財政を再建すべきだ

B 今のように景気が悪い時は、財政再建が遅れることになっても景気対策をすべきだ

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(1) A：景気対策より財政再建 B：財政再建より景気対策

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	8	10.5	6	13.0
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	5	6.6	3	6.5
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	15	19.7	11	23.9
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	40	52.6	17	37.0
5. わからない	8	10.5	9	19.6
合 計	76	100.0	46	100.0

A 国の補助金を極力減らし、地方の自由な競争による活力ある社会をめざすべきである

B 競争力の弱い市町村を助けるためには、国が補助金を出すことは当然である

(2) A：補助金を減らし地方に競争させる B：国が補助金を出す

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	18	23.7	6	12.5
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	24	31.6	6	12.5
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	16	21.1	17	35.4
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	11	14.5	8	16.7
5. わからない	7	9.2	11	22.9
合 計	76	100.0	48	100.0

【C票】

A 国の補助金を極力減らし、地方の自由な競争による活力ある社会をめざすべきである

B 競争力の弱い市町村を助けるためには、国が補助金を出すことは当然である



(1) A：補助金を減らし地方に競争させる B：国が補助金を出す

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	7	10.6	2	5.4
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	19	28.8	7	18.9
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	20	30.3	9	24.3
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	11	16.7	14	37.8
5. わからない	9	13.6	5	13.5
合 計	66	100.0	37	100.0

A 今のように政府の借金が多い時は、景気対策が遅れることになっても財政を再建すべきだ

B 今のように景気が悪い時は、財政再建が遅れることになっても景気対策をすべきだ

(2) A：景気対策より財政再建 B：財政再建より景気対策

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. Aに近く、この問題は自身にとって重要だ	4	6.0	2	5.6
2. Aに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	9	13.4	5	13.9
3. Bに近いが、この問題は自身にとって重要ではない	12	17.9	5	13.9
4. Bに近く、この問題は自身にとって重要だ	30	44.8	18	50.0
5. わからない	12	17.9	6	16.7
合 計	67	100.0	36	100.0

【※質問文共通。A～C票で写真に違いあり】

Q23 来月初旬の日曜日に選挙が行われるとします。そして、あなたの選挙区からは、別紙に記載されている2人の候補者が選挙に出馬するとします。あなたは、これら2人の候補者のうちどちらに投票しますか。それぞれの候補者の写真、経歴、アピール等を参考にしながら、1つだけ選び○印をつけてください。

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【A票。下記図は別紙資料で配布した】



候補者 A

【略歴】

- 昭和五二年八月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××会社勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選二回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。この危機を乗り越えるには、何よりもまず経済をたてなおすことが先決であると考えます。このような状況下での増税は、さらなる経済危機をまねくもの以外のなにものでもありません。したがって、私は、たとえ復興目的だとしても消費税の引き上げには反対の立場をとりたいと思います。」



候補者 B

【略歴】

- 昭和五一年二月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××商事勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選三回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。とりわけ、被災地の復興は、そのような危機を乗り越えるうえで最重要課題であると考えます。政府を効率化していくだけでは、被災地の方々に迅速で十分な支援を行うことは困難です。したがって、私は、復興を目的とした消費税の引き上げには賛成の立場をとりたいと思います。」

A 仮 想 選 挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 候補者Aに投票する	35	46.1	18	47.4
2. 候補者Bに投票する	26	34.2	12	31.6
3. 棄権する	1	1.3	1	2.6
4. どちらに投票するか判断できない	14	18.4	7	18.4
合 計	76	100.0	38	100.0

【B票。下記図は別紙資料で配布した】



候補者 A

【略歴】

- 昭和五二年八月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××会社勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選二回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。この危機を乗り越えるには、何よりもまず経済をたてなおすことが先決であると考えます。このような状況下での増税は、さらなる経済危機をまねくもの以外のなにものでもありません。したがって、私は、たとえ復興目的だとしても消費税の引き上げには反対の立場をとりたいと思います。」



候補者 B

【略歴】

- 昭和五一年二月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××商事勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選三回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。とりわけ、被災地の復興は、そのような危機を乗り越えるうえで最重要課題であると考えます。政府を効率化していくだけでは、被災地の方々に迅速で十分な支援を行うことは困難です。したがって、私は、復興を目的とした消費税の引き上げには賛成の立場をとりたいと思います。」

B 仮想選挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 候補者Aに投票する	33	42.9	21	43.8
2. 候補者Bに投票する	25	32.5	15	31.3
3. 棄権する	3	3.9	1	2.1
4. どちらに投票するか判断できない	16	20.8	11	22.9
合 計	77	100.0	48	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【C票。下記図は別紙資料で配布した】



候補者 A

【略歴】

- 昭和五二年八月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××会社勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選二回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。この危機を乗り越えるには、何よりもまず経済をたてなおすことが先決であると考えます。このような状況下での増税は、さらなる経済危機をまねくもの以外のなものでもありません。したがって、私は、たとえ復興目的だとしても消費税の引き上げには反対の立場をとりたいと思います。」



候補者 B

【略歴】

- 昭和五一年二月××県××市に生る。××大学法学部卒。
- ××商事勤務を経た後、平成××年より現職(衆議院議員)。
- 当選三回。

【アピール】

「現在、日本はこれまで経験したことのない危機的状況にさらされています。とりわけ、被災地の復興は、そのような危機を乗り越えるうえで最重要課題であると考えます。政府を効率化していくだけでは、被災地の方々に迅速で十分な支援を行うことは困難です。したがって、私は、復興を目的とした消費税の引き上げには賛成の立場をとりたいと思います。」

C 仮想選挙

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 候補者Aに投票する	28	43.8	13	37.1
2. 候補者Bに投票する	18	28.1	10	28.6
3. 棄権する	3	4.7	1	2.9
4. どちらに投票するか判断できない	15	23.4	11	31.4
合 計	64	100.0	35	100.0

#### 4.7 大阪維新の会や大阪都構想等に関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

Q24 あなたは，橋下前大阪府知事を支持していましたか。1つだけ選び○印をつけてください。

橋下府政支持

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. いつも支持していた	40	17.9	20	16.1
2. だいたい支持していた	116	52.0	65	52.4
3. あまり支持していなかった	27	12.1	19	15.3
4. まったく支持していなかった	28	12.6	10	8.1
5. どちらとも言えない	12	5.4	10	8.1
合 計	223	100.0	124	100.0

【※質問文共通。回答は大阪市と阪南市で相違あり】

Q25 あなたは，橋下府政や平松市政の全体としての実績をどのように評価しますか。  
それぞれあてはまるものを1つだけ選び○印をつけてください。

(1) 橋下府政 (2) 平松市政

(1) 橋下府政の実績評価

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良かった	50	22.3	31	25.2
2. まあまあ良かった	113	50.4	58	47.2
3. あまり良くなかった	24	10.7	16	13.0
4. まったく良くなかった	17	7.6	6	4.9
5. どちらとも言えない	20	8.9	12	9.8
合 計	224	100.0	123	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(2) 平松市政の実績評価

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. かなり良かった	5	2.2	1	0.8
2. まあまあ良かった	83	37.2	19	15.3
3. あまり良くなかった	55	24.7	35	28.2
4. まったく良くなかった	32	14.3	15	12.1
5. どちらとも言えない 他市のことなのでわからない	48	21.5	54	43.5
合 計	223	100.0	124	100.0

注) 大阪市：5. どちらとも言えない 阪南市：5. どちらとも言えない／他市のことなのでわからない

【※質問文，回答ともに共通】

Q26-1 投票するかどうかは別にして，ふだんあなたは大阪維新の会を支持していますか。1つだけ○印をつけてください。

大阪維新の会支持態度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 支持する	129	60.0	75	62.0
2. 支持しない	86	40.0	46	38.0
合 計	215	100.0	121	100.0

【※質問文，回答ともに共通。Q26-1で支持すると回答した人のみ】

Q26-2 あなたは熱心な支持者ですか，そうではありませんか。1つに○印をつけてください。

大阪維新の会支持強度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 熱心な支持者	20	15.6	16	22.2
2. あまり熱心ではない支持者	108	84.4	56	77.8
合 計	128	100.0	72	100.0

【※質問文，回答ともに共通。Q26-1で支持しないと回答した人のみ】

Q26-3 大阪維新の会は好ましい政党ですか，そうではありませんか。1つに○印をつけてください。

大阪維新の会拒否度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 支持しないが，好ましい政党ではある	32	37.6	21	46.7
2. 支持しないし，好ましい政党でもない	53	62.4	24	53.3
合 計	85	100.0	45	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q27-1 以下の橋下府政下でとりくまれた政策について，あなたの認識に近いものを1つ選び○印をつけてください。

- (1) 学力テストに関する政策                      (3) 教育基本条例に関する政策  
 (2) 府庁移転に関する政策                      (4) 大阪都構想  
 (1) 認知度：学力テストに関する政策

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 知っているし，内容も大体理解している	101	45.5	55	45.1
2. 聞いたことはあるが，内容はよくわからない	108	48.6	62	50.8
3. 聞いたこともないし，内容もよくわからない	13	5.9	5	4.1
合 計	222	100.0	122	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(2) 認知度：府庁移転に関する政策

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 知っているし、内容も大体理解している	140	62.8	69	56.6
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	76	34.1	47	38.5
3. 聞いたこともないし、内容もよくわからない	7	3.1	6	4.9
合 計	223	100.0	122	100.0

(3) 認知度：教育基本条例に関する政策

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 知っているし、内容も大体理解している	91	41.2	46	38.3
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	112	50.7	65	54.2
3. 聞いたこともないし、内容もよくわからない	18	8.1	9	7.5
合 計	221	100.0	120	100.0

(4) 認知度：大阪都構想

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 知っているし、内容も大体理解している	109	48.7	50	40.7
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	82	36.6	53	43.1
無回答（知っているし理解している／聞いたことはある）	26	11.6	18	14.6
3. 聞いたこともないし、内容もよくわからない	7	3.1	2	1.6
合 計	224	100.0	123	100.0

注） 回答してはいないがQ27-2以降の設問に回答している人を「無回答（知っているし理解している／聞いたことはある）」とした

【※質問文、回答ともに共通。Q27-1(4)で3以外の回答をした人のみ】

Q27-2 あなたは、大阪都構想を支持しますか。1つ選び○印をつけてください。



大阪都構想を支持するか

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 支持する	56	25.9	36	29.5
2. やや支持する	72	33.3	31	25.4
3. あまり支持しない	33	15.3	12	9.8
4. 支持しない	22	10.2	10	8.2
5. いちがいには言えない	33	15.3	33	27.0
合 計	216	100.0	122	100.0

【※質問文、回答ともに共通。Q27-1(4)で3以外の回答をした人のみ】

Q27-3 もし大阪都構想が実現された場合、大阪府民やあなたの暮らし向きはどのように変わるとお考えですか。それぞれについて1つ選び○印をつけてください。

(1) 大阪府民の暮らし向き (2) あなたの暮らし向き

(1) 大阪都構想実現後の府民の暮らし向き

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 良くなる	20	9.6	11	9.4
2. やや良くなる	83	39.7	47	40.2
3. やや悪くなる	19	9.1	10	8.5
4. 悪くなる	15	7.2	3	2.6
5. 変わらない	72	34.4	46	39.3
合 計	209	100.0	117	100.0

(2) 大阪都構想実現後の自身の暮らし向き

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 良くなる	9	4.3	4	3.4
2. やや良くなる	66	31.4	36	30.5
3. やや悪くなる	21	10.0	10	8.5
4. 悪くなる	16	7.6	3	2.5
5. 変わらない	98	46.7	65	55.1
合 計	210	100.0	118	100.0

#### 4.8 グループ加入，コミュニケーション等に関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

Q28 あなたは，この中にあげている組織やグループのメンバーになっていますか。また，メンバーとして参加している場合，その団体の活動に積極的に参加していますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

- (1) 自治会・町内会      (4) NPO・NGO      (7) 習い事や学習のグループ  
 (2) 農協・同業者団体      (5) ボランティア団体      (8) 趣味や遊び仲間のグループ  
 (3) 労働組合      (6) 政治家の後援会

(1) グループ加入：自治・町内会

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	15	7.2	9	7.6
2. メンバーであり大体参加している	16	7.7	12	10.2
3. メンバーとなっている程度	62	30.0	45	38.1
4. メンバーではない	114	55.1	52	44.1
合 計	207	100.0	118	100.0

(2) グループ加入：農協・同業者団体

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	0	0.0	0	0.0
2. メンバーであり大体参加している	1	0.5	2	1.8
3. メンバーとなっている程度	5	2.6	12	10.7
4. メンバーではない	185	96.9	98	87.5
合 計	191	100.0	112	100.0

(3) グループ加入：労働組合

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	0	0.0	0	0.0
2. メンバーであり大体参加している	6	3.2	1	0.9
3. メンバーとなっている程度	16	8.4	7	6.3
4. メンバーではない	168	88.4	104	92.9
合 計	190	100.0	112	100.0

(4) グループ加入：NPO・NGO

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	1	0.5	2	1.8
2. メンバーであり大体参加している	2	1.0	0	0.0
3. メンバーとなっている程度	4	2.1	1	0.9
4. メンバーではない	184	96.3	109	97.3
合 計	191	100.0	112	100.0

(5) グループ加入：ボランティア団体

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	3	1.6	2	1.8
2. メンバーであり大体参加している	2	1.0	3	2.7
3. メンバーとなっている程度	4	2.1	3	2.7
4. メンバーではない	182	95.3	104	92.9
合 計	191	100.0	112	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(6) グループ加入：政治家の後援会

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	1	0.5	0	0.0
2. メンバーであり大体参加している	4	2.1	1	0.9
3. メンバーとなっている程度	8	4.2	8	7.1
4. メンバーではない	176	93.1	103	92.0
合 計	189	100.0	112	100.0

(7) グループ加入：習い事や学習のグループ

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	14	7.3	9	7.9
2. メンバーであり大体参加している	12	6.2	9	7.9
3. メンバーとなっている程度	17	8.8	8	7.0
4. メンバーではない	150	77.7	88	77.2
合 計	193	100.0	114	100.0

(8) グループ加入：趣味や遊び仲間のグループ

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. メンバーでありほとんど参加している	30	15.1	19	16.7
2. メンバーであり大体参加している	33	16.6	21	18.4
3. メンバーとなっている程度	31	15.6	10	8.8
4. メンバーではない	105	52.8	64	56.1
合 計	199	100.0	114	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q29-1 あなたは，次にあげることがらについて，ふだんどのくらいしていますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

- (1) 国や地方の政治について家族や友人と話す
- (2) 新聞や雑誌で政治の記事を読む
- (3) インターネット上のニュースやブログなどで政治の記事や情報を読む
- (4) テレビで政治番組を見る

(1) 政治的コミュニケーション：家族や友人と会話

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. ほぼ毎日	17	7.7	11	8.9
2. ときどき	74	33.3	41	33.3
3. たまに	100	45.0	55	44.7
4. ほとんどない	31	14.0	16	13.0
合 計	222	100.0	123	100.0

(2) 政治的コミュニケーション：新聞記事を読む

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. ほぼ毎日	77	34.8	47	37.9
2. ときどき	68	30.8	38	30.6
3. たまに	47	21.3	26	21.0
4. ほとんどない	29	13.1	13	10.5
合 計	221	100.0	124	100.0

(3) 政治的コミュニケーション：ネットで読む

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. ほぼ毎日	37	17.2	21	17.2
2. ときどき	56	26.0	24	19.7
3. たまに	42	19.5	23	18.9
4. ほとんどない	80	37.2	54	44.3
合 計	215	100.0	122	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(4) 政治的コミュニケーション：テレビで見る

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. ほぼ毎日	54	24.2	32	26.0
2. ときどき	81	36.3	49	39.8
3. たまに	52	23.3	23	18.7
無回答（毎日/ときどき/たまに）	21	9.4	13	10.6
4. ほとんどない	15	6.7	6	4.9
合 計	223	100.0	123	100.0

注) 回答してはいないがQ29-2以降の設問に回答している人を「無回答（毎日/ときどき/たまに）」とした

【※質問文，回答ともに共通】

Q29-2 次にあげる番組の中で，主にどれを見ていますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。

番 組 名

	大阪市 (N=209)		阪南市 (N=116)	
	度数	%	度数	%
1. モーニングバード	47	22.5	21	18.1
2. とくダネ！	50	23.9	30	25.9
3. スッキリ!!	40	19.1	14	12.1
4. 情報ライブミヤネ屋	68	32.5	41	35.3
5. VOICE	35	16.7	27	23.3
6. FNN スーパーニュースアンカー	58	27.8	51	44.0
7. ニュースウォッチ9	60	28.7	32	27.6
8. 報道ステーション	141	67.5	81	69.8
9. NEWS ZERO	73	34.9	37	31.9
10. たかじんのそこまで言って委員会	118	56.5	61	52.6
11. サンデー・ジャポン	52	24.9	20	17.2
12. あさパラ！	31	14.8	13	11.2

【※質問文、回答ともに共通】

Q30 インターネット上の掲示板（2ちゃんねるなど）や，そこでの政治に関わる発言について，あなたはどのようなイメージや印象を抱いていますか。あてはまる番号をあるだけ選び○印をつけてください。

インターネット掲示板イメージ

	大阪市 (N=168)		阪南市 (N=82)	
	度数	%	度数	%
1. 役立つ情報が多く参考になる	16	9.5	12	14.6
2. 自分の意見を他者と共有できる	18	10.7	10	12.2
3. 偏った意見ばかりみられる	51	30.4	20	24.4
4. 誹謗中傷ばかりで読むに耐えない	46	27.4	21	25.6
5. 一般のメディアではわからない情報が得られる	52	31.0	19	23.2
6. その他	41	24.4	26	31.7

【※質問文、回答ともに共通】

Q31 ところで，あなたは「行列のできる法律相談所」（読売テレビ，日曜9時）という番組をご存じですか。もしご存じであれば，どのくらいの期間見続けていますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。

行列のできる相談所視聴頻度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 番組開始頃より頻繁に見続けている	18	8.1	14	11.3
2. 番組開始頃よりたまに見続けている	41	18.6	21	16.9
3. 当初は見ていたが最近は見えていない	110	49.8	63	50.8
4. 最近になって見始めた	3	1.4	2	1.6
5. その他	4	1.8	7	5.6
6. 知らない／ほとんど見ていない	45	20.4	17	13.7
合 計	221	100.0	124	100.0

#### 4.9 価値観に関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

Q32-1 次にあげる意見について，あなたの考えに近い番号をそれぞれ1つ選び，○印をつけてください。

- (1) 政治とは自分から積極的に働きかけるもの
- (2) 政治とは監視していくもの
- (3) 政治的なことにはなるだけ関わりたくない
- (4) 私と政治の間には何の関係もない
- (5) 政治に関心をもつより自分の生活を充実させることに時間を使いたい
- (6) 家族や友人と過ごす時間は何より重要だ

(1) 政治とは自分から積極的に働きかけるもの

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	33	15.1	7	6.0
2. ややそう思う	77	35.3	44	37.9
3. あまりそう思わない	70	32.1	41	35.3
4. まったくそう思わない	10	4.6	6	5.2
5. どちらとも言えない	28	12.8	18	15.5
合 計	218	100.0	116	100.0

(2) 政治とは監視していくもの

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	64	29.8	25	21.4
2. ややそう思う	88	40.9	49	41.9
3. あまりそう思わない	38	17.7	23	19.7
4. まったくそう思わない	6	2.8	6	5.1
5. どちらとも言えない	19	8.8	14	12.0
合 計	215	100.0	117	100.0



(3) 政治的なことにはなるだけ関わりたくない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	15	6.9	5	4.3
2. ややそう思う	42	19.3	30	25.9
3. あまりそう思わない	90	41.3	44	37.9
4. まったくそう思わない	37	17.0	19	16.4
5. どちらとも言えない	34	15.6	18	15.5
合 計	218	100.0	116	100.0

(4) 私と政治の間には何の関係もない

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	16	7.3	10	8.5
2. ややそう思う	35	16.1	19	16.2
3. あまりそう思わない	82	37.6	42	35.9
4. まったくそう思わない	59	27.1	32	27.4
5. どちらとも言えない	26	11.9	14	12.0
合 計	218	100.0	117	100.0

(5) 政治に関心をもつよりも自分の生活を充実させたい

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	41	18.6	21	17.6
2. ややそう思う	84	38.2	42	35.3
3. あまりそう思わない	56	25.5	32	26.9
4. まったくそう思わない	14	6.4	6	5.0
5. どちらとも言えない	25	11.4	18	15.1
合 計	220	100.0	119	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(6) 家族や友人と過ごす時間は大切

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	115	52.5	58	49.6
2. ややそう思う	74	33.8	40	34.2
3. あまりそう思わない	14	6.4	13	11.1
4. まったくそう思わない	7	3.2	1	0.9
5. どちらとも言えない	9	4.1	5	4.3
合 計	219	100.0	117	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

Q32-2 それでは、次にあげる意見についてはどうでしょうか。それぞれ1つ選び、○印をつけてください。

- (1) 人の上に立つ人は、下の人に威厳をもって接するべきだ
- (2) どんなことでも、親のいうことにはしたがわなくてはならない
- (3) ほとんどの人は信頼できる
- (4) たいていの人は人から信頼された場合、同じように相手を信頼する
- (5) 自分とはまったく違う価値観の人が生活していても、寛容に受け入れる必要がある
- (6) 外国人であっても、日本人と同程度の福祉や医療を受けられるようにした方がよい

(1) 人の上に立つ人は威厳をもって接するべき

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	30	13.6	19	16.5
2. ややそう思う	57	25.8	30	26.1
3. あまりそう思わない	79	35.7	41	35.7
4. まったくそう思わない	35	15.8	20	17.4
5. どちらとも言えない	20	9.0	5	4.3
合 計	221	100.0	115	100.0

(2) 親のいうことにはしたがうべき

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	5	2.3	2	1.7
2. ややそう思う	41	18.6	20	17.1
3. あまりそう思わない	108	49.1	60	51.3
4. まったくそう思わない	48	21.8	26	22.2
5. どちらとも言えない	18	8.2	9	7.7
合 計	220	100.0	117	100.0

(3) ほとんどの人は信頼できる

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	5	2.3	3	2.5
2. ややそう思う	48	21.8	29	24.6
3. あまりそう思わない	108	49.1	48	40.7
4. まったくそう思わない	35	15.9	23	19.5
5. どちらとも言えない	24	10.9	15	12.7
合 計	220	100.0	118	100.0

(4) 人から信頼されたら同じように自分も信頼する

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	29	13.2	12	10.2
2. ややそう思う	107	48.9	51	43.2
3. あまりそう思わない	53	24.2	34	28.8
4. まったくそう思わない	11	5.0	9	7.6
5. どちらとも言えない	19	8.7	12	10.2
合 計	219	100.0	118	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

(5) 自分とは違う価値観の人も受け入れる

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	43	19.6	19	16.2
2. ややそう思う	113	51.6	55	47.0
3. あまりそう思わない	45	20.5	23	19.7
4. まったくそう思わない	4	1.8	4	3.4
5. どちらとも言えない	14	6.4	16	13.7
合 計	219	100.0	117	100.0

(6) 外国人であっても、福祉や医療を受けられるようにする

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. そう思う	42	19.3	18	15.3
2. ややそう思う	95	43.6	52	44.1
3. あまりそう思わない	41	18.8	24	20.3
4. まったくそう思わない	13	6.0	6	5.1
5. どちらとも言えない	27	12.4	18	15.3
合 計	218	100.0	118	100.0

【※質問文は共通。A～C票で回答の順序に相違あり】

Q33 この先10年、15年先の国家目標を考えた場合、わが国の国家目標は次のうちどれを重視すべきだとお考えですか。1番目と2番目に重視すべきものをそれぞれ選び、( )に番号を記してください。

【A票】

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| (1) 国内の安全や秩序を維持する   | (3) 経済を安定させる |
| (2) 政策決定に国民の声を反映させる | (4) 言論の自由を守る |

国の目標：1番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 国内の安全や秩序を維持する	17	21.8	12	31.6
2. 政策決定に国民の声を反映させる	16	20.5	8	21.1
3. 経済を安定させる	45	57.7	18	47.4
4. 言論の自由を守る	0	0.0	0	0.0
合 計	78	100.0	38	100.0

国の目標：2番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 国内の安全や秩序を維持する	29	39.2	9	24.3
2. 政策決定に国民の声を反映させる	19	25.7	13	35.1
3. 経済を安定させる	20	27.0	11	29.7
4. 言論の自由を守る	6	8.1	4	10.8
合 計	74	100.0	37	100.0

【B票】

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| (1) 政策決定に国民の声を反映させる | (3) 経済を安定させる      |
| (2) 言論の自由を守る        | (4) 国内の安全や秩序を維持する |

国の目標：1番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 政策決定に国民の声を反映させる	17	23.0	12	26.1
2. 言論の自由を守る	2	2.7	2	4.3
3. 経済を安定させる	46	62.2	27	58.7
4. 国内の安全や秩序を維持する	9	12.2	5	10.9
合 計	74	100.0	46	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

国の目標：2番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 政策決定に国民の声を反映させる	17	23.0	17	37.0
2. 言論の自由を守る	2	2.7	1	2.2
3. 経済を安定させる	17	23.0	13	28.3
4. 国内の安全や秩序を維持する	38	51.4	15	32.6
合 計	74	100.0	46	100.0

【C票】

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| (1) 経済を安定させる      | (3) 政策決定に国民の声を反映させる |
| (2) 国内の安全や秩序を維持する | (4) 言論の自由を守る        |

国の目標：1番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 経済を安定させる	49	74.2	24	70.6
2. 国内の安全や秩序を維持する	9	13.6	7	20.6
3. 政策決定に国民の声を反映させる	8	12.1	2	5.9
4. 言論の自由を守る	0	0.0	1	2.9
合 計	66	100.0	34	100.0

国の目標：2番目

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 経済を安定させる	9	13.6	7	21.2
2. 国内の安全や秩序を維持する	22	33.3	12	36.4
3. 政策決定に国民の声を反映させる	30	45.5	13	39.4
4. 言論の自由を守る	5	7.6	1	3.0
合 計	66	100.0	33	100.0

【※質問文共通。回答に若干の差異あり】

Q34 全体的にみて、あなたは日本や大阪という地域に誇りや愛着を感じていますか。

それぞれについて1つだけあてはまる番号を選び○印をつけてください。

【大阪市】 (1) 日本 (2) 大阪府 (3) 大阪市  
 【阪南市】 (1) 日本 (2) 大阪府 (3) 阪南市

(1) 日本への誇りや愛着

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. とても誇りに思う	91	41.6	56	46.7
2. やや誇りに思う	89	40.6	38	31.7
3. あまり誇りに思わない	30	13.7	17	14.2
4. まったく誇りに思わない	1	0.5	4	3.3
5. どちらとも言えない	8	3.7	5	4.2
合 計	219	100.0	120	100.0

(2) 大阪府への誇りや愛着

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. とても誇りに思う	54	24.7	31	25.8
2. やや誇りに思う	91	41.6	51	42.5
3. あまり誇りに思わない	48	21.9	28	23.3
4. まったく誇りに思わない	7	3.2	2	1.7
5. どちらとも言えない	19	8.7	8	6.7
合 計	219	100.0	120	100.0

(3) 大阪市／阪南市への誇りや愛着

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. とても誇りに思う	63	28.5	22	18.2
2. やや誇りに思う	90	40.7	42	34.7
3. あまり誇りに思わない	44	19.9	25	20.7
4. まったく誇りに思わない	9	4.1	13	10.7
5. どちらとも言えない	15	6.8	19	15.7
合 計	221	100.0	121	100.0

【※質問文，回答ともに共通】

Q35 あなたは，なでしこ JAPAN やザック JAPAN の応援というような国民的なイベントごとに，積極的に関与しようと思いますか。1つだけ選び○をつけてください。

国民的なイベントごとへの参加意向

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 積極的に参加したい／参加してみたい	14	6.3	7	5.8
2. 参加するほどではないが一緒に楽しみたい	165	74.3	95	78.5
3. 参加したくない／関心がない	39	17.6	17	14.0
4. 参加したくないし，そのような行為はすべきではない	4	1.8	2	1.7
合 計	222	100.0	121	100.0

#### 4.10 デモグラフィーに関する質問の回答状況

【※質問文，回答ともに共通】

F 1 あなたの性別と満年齢を教えてください。

性 別					
		大 阪 市		阪 南 市	
		度数	%	度数	%
1. 男	性	118	52.9	65	54.2
2. 女	性	105	47.1	55	45.8
合 計		223	100.0	120	100.0



年 齢

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
20-29歳	19	8.4	8	6.5
30-39歳	40	17.8	16	13.0
40-49歳	38	16.9	19	15.4
50-59歳	41	18.2	30	24.4
60-69歳	58	25.8	43	35.0
70歳以上	29	12.9	7	5.7
合 計	225	100.0	123	100.0

注) 年齢は実年齢を空欄に記入する方式で尋ねている

【※質問文，回答ともに共通】

F 2 あなたはこの近く（町内，村，団地，歩いてだいたい30分程度の範囲）に何年くらい住んでいますか。

居 住 年 数

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 3年以下	18	8.0	3	2.5
2. 4～9年	32	14.3	7	5.7
3. 10～14年	29	12.9	8	6.6
4. 15年以上	92	41.1	69	56.6
5. 生まれてからずっと	53	23.7	35	28.7
合 計	224	100.0	122	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【※回答に若干の差異あり】

F 3 あなたの父母の出身地は次のうちどれでしょうか。

父の出身地

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 大阪市内／阪南市内	46	20.8	28	23.0
2. 大阪府内	28	12.7	24	19.7
3. 大阪府外	147	66.5	69	56.6
4. わからない	0	0.0	1	0.8
合 計	221	100.0	122	100.0

母の出身地

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 大阪市内／阪南市内	41	18.8	21	17.5
2. 大阪府内	22	10.1	26	21.7
3. 大阪府外	154	70.6	72	60.0
4. わからない	1	0.5	1	0.8
合 計	218	100.0	120	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

F 4 あなたが最後に卒業された学校はどちらですか（中退・在学中は卒業とみなしてください）。

教 育 程 度

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 新中学・旧小・旧高小	22	10.0	18	14.6
2. 新高校・旧中学	93	42.1	50	40.7
3. 高専・短大・専修学校	37	16.7	30	24.4
4. 大学・大学院	69	31.2	25	20.3
合 計	221	100.0	123	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

F 5 あなたの職業についておうかがいします。お勤めですか、自分で事業をしていらっしゃるでしょうか、それとも仕事を手伝っていらっしゃるでしょうか。(定職をお持ちでない場合) 学生ですか、専業主婦ですか、フリーター・契約社員ですか。

職 業

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 勤め（事務・技術職）	38	16.9	21	16.9
2. 勤め（製造・サービス）	34	15.1	17	13.7
3. 公務員	9	4.0	4	3.2
4. 自営業・自由業	34	15.1	16	12.9
5. 家族従業	5	2.2	1	0.8
6. 学生	5	2.2	2	1.6
7. 専業主婦	27	12.0	27	21.8
8. フリーター・契約社員	21	9.3	8	6.5
9. 無職	45	20.0	20	16.1
10. その他	7	3.1	8	6.5
合 計	225	100.0	124	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

F 6 あなたのお住まいは次のうちどれになりますか。

住 居 形 態

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 持ち家（一戸建て）	74	33.3	109	88.6
2. 分譲マンション	59	26.6	3	2.4
3. 民間の借家（一戸建て）	5	2.3	2	1.6
4. 民間のアパート・マンション	50	22.5	7	5.7
5. 公的な賃貸住宅	25	11.3	2	1.6
6. 給与住宅（社宅など）	3	1.4	0	0.0
7. 住み込み・寮・寄宿舍など	1	0.5	0	0.0
8. その他	5	2.3	0	0.0
合 計	222	100.0	123	100.0

2011年大阪市長・府知事同日選挙下の投票行動と政治意識に関する調査の概要

【※質問文、回答ともに共通】

F 7 あなたの生活水準は次の中でどこらへんに位置していると思いますか。

生活水準

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 上の上	0	0.0	1	0.8
2. 上の下	3	1.4	0	0.0
3. 中の上	38	17.3	22	18.0
4. 中の中	86	39.1	40	32.8
5. 中の下	51	23.2	40	32.8
6. 下の上	31	14.1	16	13.1
7. 下の下	11	5.0	3	2.5
合 計	220	100.0	122	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

F 8 昨年度（平成22年1月～12月）1年間のお宅の収入はご家族全部合わせると、およそどのくらいになりますか。ボーナスや臨時収入を含め、税込でご回答ください。

世帯収入

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
1. 200万円未満	34	16.0	12	10.4
2. 200万円～400万円未満	58	27.2	47	40.9
3. 400万円～600万円未満	51	23.9	24	20.9
4. 600万円～800万円未満	29	13.6	15	13.0
5. 800万円～1000万円未満	24	11.3	8	7.0
6. 1000万円以上	17	8.0	9	7.8
合 計	213	100.0	115	100.0

【※質問文、回答ともに共通】

F 9 今後、さらなる調査研究にご協力頂くことが可能な回答者さまは、左側に✓をご記入お願いいたします。

今後の調査への協力

	大 阪 市		阪 南 市	
	度数	%	度数	%
協力できない/したくない	73	33.0	35	29.4
協力することは可能	148	67.0	84	70.6
合 計	221	100.0	119	100.0

参 考 文 献

- 有馬晋作. 2011. 『劇場型首長の戦略と功罪』 ミネルヴァ書房.
- 岩渕美克. 1996. 「東京都知事選における無党派層の投票行動」『選挙研究』11号：61-70.
- 大嶽秀夫. 2003. 『日本型ポピュリズム——政治への期待と幻滅』 中央公論新社.
- 蒲島郁夫. 1988. 『政治参加』 東京大学出版会.
- 河村和徳. 2001. 「知事の政治的態度と市長選挙」『選挙研究』16号：70-88.
- 川入貞史. 1988. 「衆参同日選挙と中曽根人気」『北大法学論集』39巻2号：180-238.
- 砂原庸介. 2010. 「地方における政党政治と二元代表制——地方政治レベルの自民党『分裂』の分析から」『レヴァイアサン』47号：89-107.
- 砂原庸介. 2011. 『地方政府の民主主義——財政資源の制約と地方政府の政策選択』 有斐閣.
- 曾我謙悟・待鳥聡史. 2007. 『日本の地方政治——二元代表制政府の政策選択』 名古屋大学出版会.
- 馬渡 剛. 2010. 『戦後日本の地方議会——1955～2008——』 ミネルヴァ書房.
- 三宅一郎. 1990. 『政治参加と投票行動——大都市住民の政治生活——』 ミネルヴァ書房.